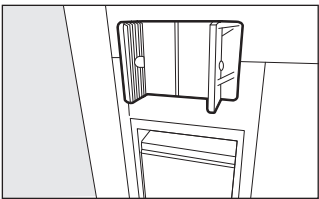


取り外し方法

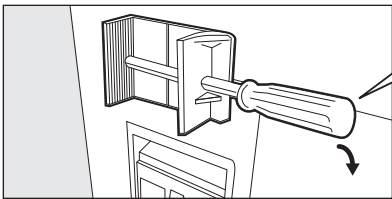
必ず下記の方法に従って外してください。
他の方法で外した場合は分電盤や本製品が破損する恐れがあります。

1 台座から本体をスライドして外し、
台座のみ残した状態にします。



※「バンド穴位置調整、台座スリット高さ調整」参照

2 ドライバーなどを台座横の穴に通し、
分電盤に対し平行に回すようにします。



分電盤を押さえてゆっくり回転させて
はがしてください。
回す際は急に力を入れず、ゆっくり
回してください。

再取り付けするときは、別売りの交換
用接着シートをつける前によく接着面
を清掃してください

その他の操作

●ブレーカーが遮断した場合の操作

各電気製品の異常がないことを確認の上、
本体のセットアームをセットし、
ブレーカーのレバーをONにしてください。

●感震震度の切り替え

感度切り替えスイッチで弱(5+)と
強(6-)を切り替えます(目安であり、
現場の状況により変わります)。

●定期点検

1年に1回テストスイッチを押し、ブレーカーがOFFになることを確
認してください。点検後は本体のセットアームを本体表示通りにセッ
トし、その後ブレーカーのレバーをONにして復帰してください。

※作動感度(5+)は内閣府の性能評価ガイドラインに沿って確認し、一般財団法人日本消防設備安全センターの推奨マークを
取得しております。

取り付けQ&A

質問	回答
フタ付きの分電盤に取り付ける場合は？	フタは完全に閉まりません。半開放状態でも動作には影響がありません。
取り付け面が狭いのですが大丈夫ですか？	接着部の半分以上の面積が接着する場所であれば取り付け可能です。
分電盤に注意書きのシールが貼ってある	できる限り注意書きシールを避けて取り付けてください。
テストスイッチを押しても動作しない	セットアームにアームフックが付いていませんか？ 取り外してください。
セットアームがセット出来ない	本体が垂直に取り付いているか確認して下さい。

保守・点検

- 1年に一度はテストスイッチを使い、正常に動作するかを
ご確認ください。
- 万が一製品の不良などがございましたら恐れ入りますが
購入代理店もしくは右記お問い合わせ先へご連絡ください。
- 別売品：交換用パッド／アルコールパッド(LQ-47)

お問い合わせ先

株式会社 リンテック21
〒108-0074 東京都港区高輪4-1-18 高輪ビル2F
TEL:03-5798-7801 FAX:03-3440-5115
URL: <http://www.lintec21.com>



取り付け動画

▲ 使用上の注意事項

- 本製品は一般的な家庭用ブレーカー向けに設計されておりますが、全てのブレーカーに対応する事をお約束するものではありません。
- 本製品は地震による通電発火を防止するもので、災害や事故等による被害を補償するものではありません。
- 本製品は垂直に取り付けした状態でのみ正しく動作します。横向や逆さに取り付けした場合はセットアームがセット出来ません。
- 取扱説明書と異なる取り付けを行った場合は機能しないことがあります。
- 落下等の衝撃は破損の原因になります。なお感震ブレーカーアダプターとしての使用目的以外でのご使用はご遠慮ください。
- 本製品は設定した震度の揺れを感知すると瞬時にブレーカーをOFFにします。電源が遮断されても安全上問題がないことを確認して
からご使用ください。また、屋内が暗くなりますので懐中電灯を準備されることをおすすめします。
- ブレーカーを復旧させる場合は漏電、ショート等が無いことを確認してから戻して下さい。
- 地震の強度や分電盤の材質によって、本製品の効果が薄れることがあります。
- 取扱説明書と異なる外し方をした場合は本製品を壊す可能性があります。
- 分解・組み立ては行わないでください。行った場合は破壊として扱います。
- 予告なく製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に起因するあらゆる派生的損害について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

製造販売元：株式会社 リンテック21

TEL.03-5798-7801 FAX.03-3440-5115
〒108-0074 東京都港区高輪4-1-18 高輪ビル2F

取扱説明書

取り付け動画



感震ブレーカーアダプター YAMORI GV-SB1

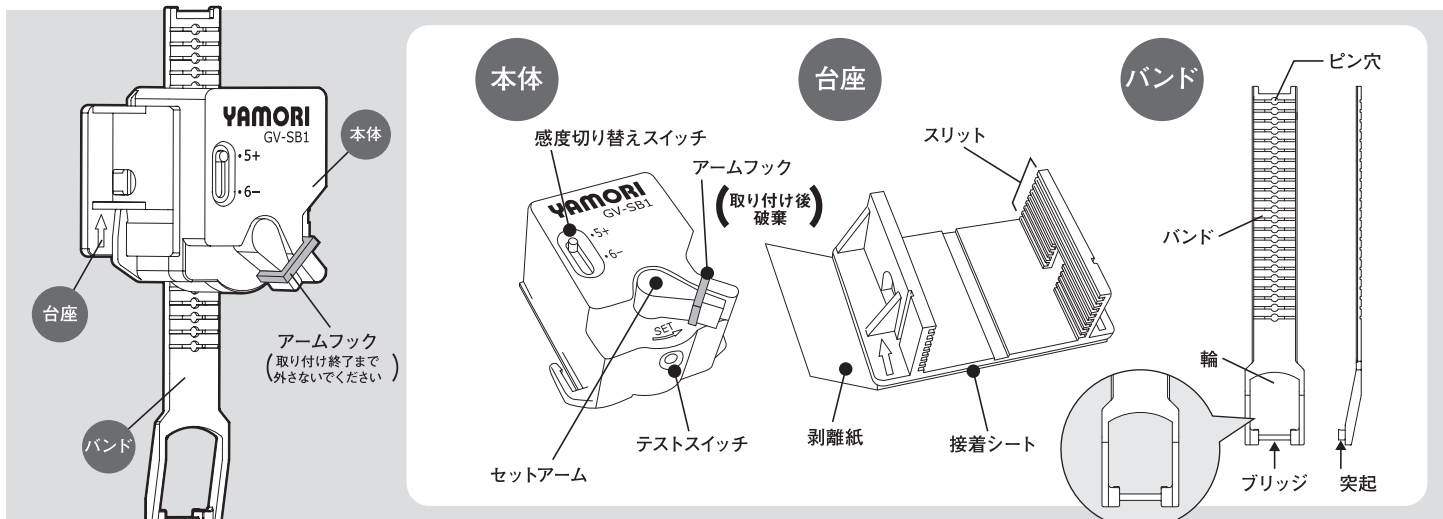
このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。●本書はいつでも見るできるよう大切に保管してください。

本製品の特徴

本製品は、震度5強又は震度6弱以上の大地震発生時に、メカニカルセンサーが地震を感知し、ブレーカーのスイッチを強制的
に遮断する事で、地震による通電火災を防止する簡易タイプの感震ブレーカーです。各種タイプの分電盤(ブレーカー)に対応
が可能となっております。 ※但し一部、ブレーカーによっては対応できないタイプが有ります。

各部の名称



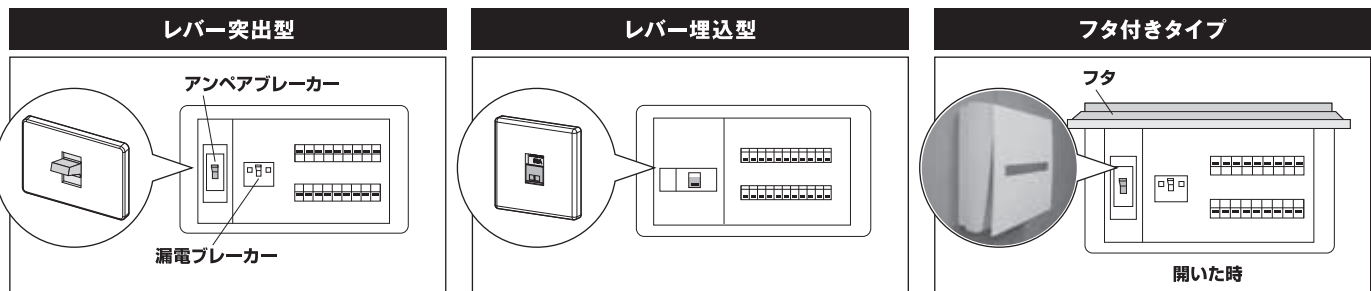
製品の構成

- 本体：1個(構成：本体、台座、バンド、アームフック 各1個)
- アルコールパッド：1枚
- 取扱説明書(本書)：1部 ※開梱したら構成品をご確認ください。

お客様にご用意いただく物

- はさみ(取り付けの際にバンドが長い場合、カットする為に使用)

分電盤の種類



取り付け場所のご注意

- 通常は漏電ブレーカーに取り付けます。漏電ブレーカーに取り付けできない場合はアンペアブレーカーに取り付けます。
(どちらに取り付けしても効果は同じです。)
- 一部を除く、レバー突出型にはそのまま取り付けができます。レバー埋込型は本体の高さ調整のためスリット位置の
変更が必要になります。そのまま取り付けができないときやスリット位置の変更が必要なときは「取り付け例」、「取り付け
方法」を参考にしてください。



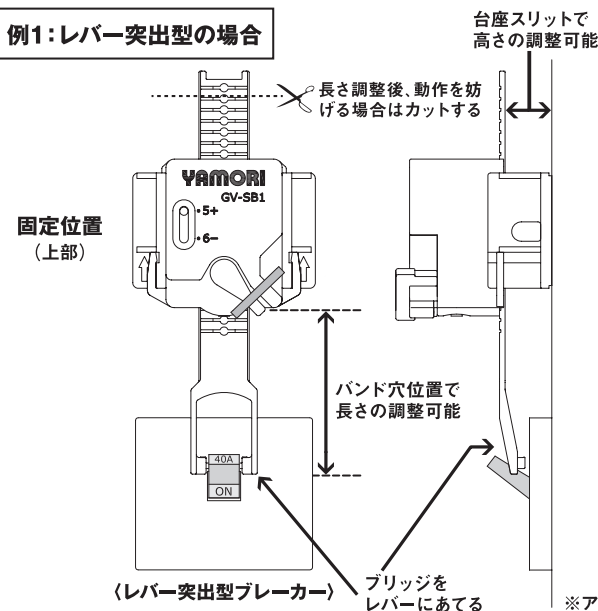
作業前
注意事項

- 日中明るいときに取り付けをしてください。
- 取り付けの際にブレーカーが切れますので、ご家庭内で故障が起こる可能性のある機器がありましたら、対策を講じてください。
(医療機器・IH調理器・稼働中の洗濯機・録画中のテレビやゲーム機・パソコンなど)
- 分電盤は通常高い位置に設置されています。高い位置での作業をする際、落下などの危険がないようご注意ください。

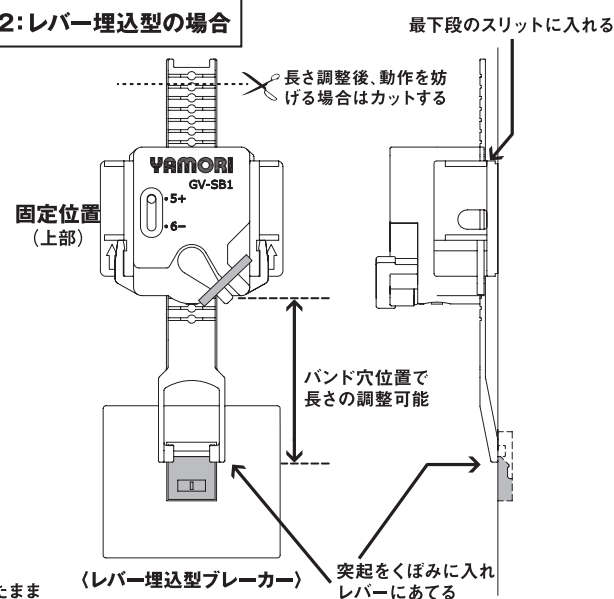
取り付け例

ブレーカー上部への取り付け

例1: レバー突出型の場合

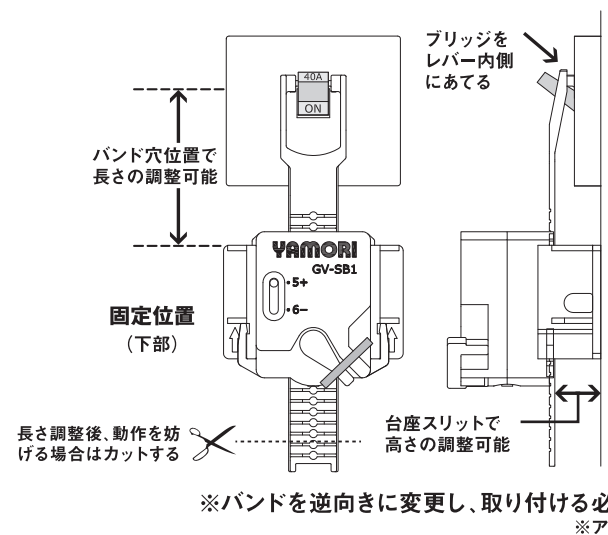


例2: レバー埋込型の場合

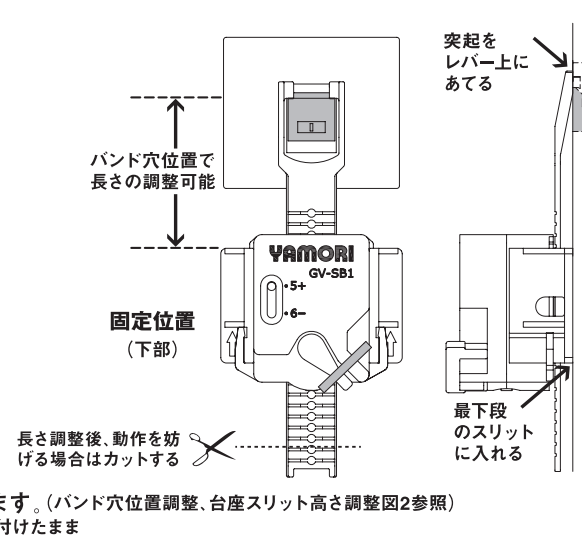


ブレーカー下部への取り付け

例1: レバー突出型の場合



例2: レバー埋込型の場合

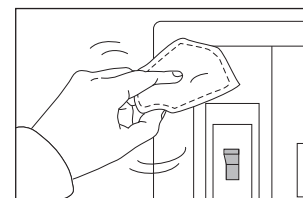


※バンドを逆向きに変更し、取り付ける必要があります。(バンド穴位置調整、台座スリット高さ調整図2参照)
※アームフックは付けたまま

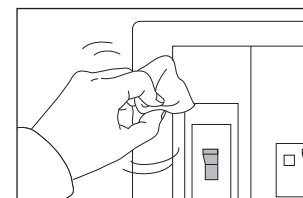
取り付け方法

1 接着位置の清掃

接着する位置が決まったら、乾いた布でふいて、ホコリを取り除きます。付属のアルコールパッドを使い接着部分をきれいにします。
※アルコールが乾くまでは貼り付けないでください。(2～3分)



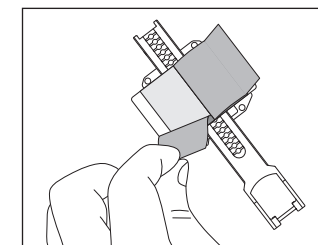
布で軽く拭く



アルコールパッドで仕上げ

2 剥離紙をはがす

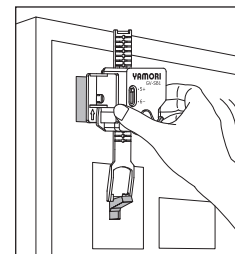
台座の接着部を手前に向け、図のように左側の小さい方の剥離紙をはがします。



3 仮固定

バンドを目安にし、垂直になるように手で持ちます。バンドのブリッジをブレーカーのレバーに軽く押しあてて本体を分電盤に軽く押しつけます。

※突出型の場合、埋込型の場合の取り付け方は、「取り付け例」をご参照ください。

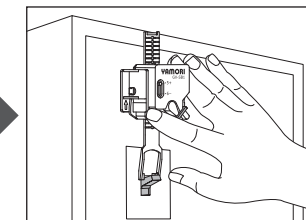
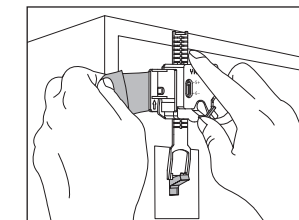


チェックポイント

- バンドはほぼ垂直ですか？
- レバー突出型の場合、バンドのブリッジがレバーにあたっていますか？
- レバー埋込型の場合、本体が台座の最下段のスリットに入っていますか？
- バンドの突起がくぼみに入って、レバーにあたっていますか？
- チェックの結果修正が必要な場合、仮固定をはがしてやり直してください。

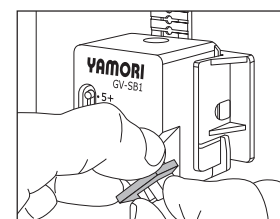
4 本固定

外に出ている剥離紙を外側へ引きながらはがします。本体の中央部を強く押し、しっかりと固定してください。



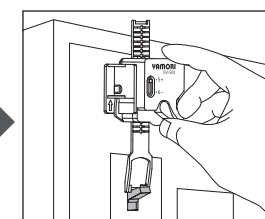
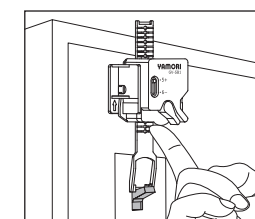
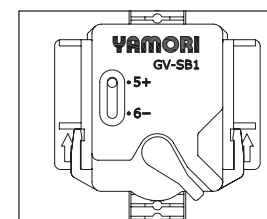
5 アームフックの取り外し

右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引き抜きます。



6 動作テスト

セットアームを本体の表示通りにセットし、ブレーカーレバーがONになっていることを確認します。テストスイッチを押しブレーカーレバーがOFFになることを確認します。動作に問題がなければセットアームを再度セットし、ブレーカーレバーをONにして完了です。

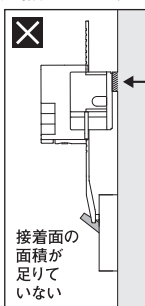
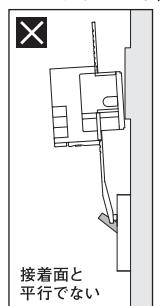
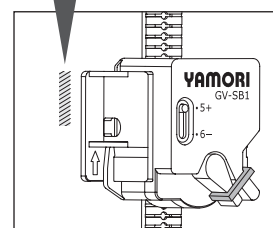


取り付け時の注意

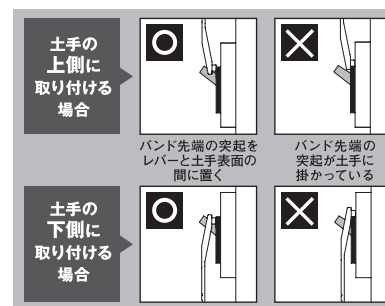
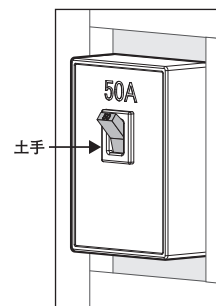
接着位置は曲面を避け、台座の半分以上が接着できる場所を選んでください。

取付面積が台座の半分以下の場合は、ご相談ください。(連絡先:リンテック21)

接着面積は半分以上必須！



レバーの周囲に土手があるブレーカーの場合は以下にご注意ください。



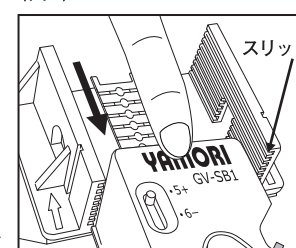
バンド穴位置調整、台座スリット高さ調整

※調整が必要な場合は下記を実施します。

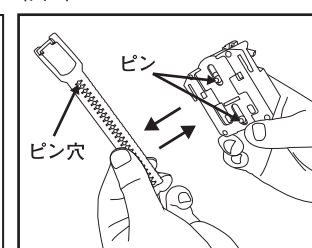
●バンドの付け替えによる長さ調整

台座から本体を外します。(図1)次に本体からバンドを取り外し、ブレーカーレバーからの接着位置に合わせて付け替えます。(図2)バンドが動作を妨げる場合はハサミでカットします。本体をスリットに入れます。(図3)

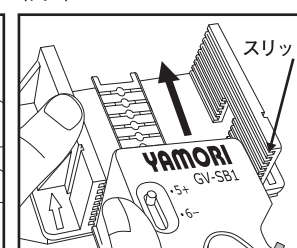
(図1)



(図2)



(図3)



●台座スリットの入れ替えによる高さ調整

台座から本体を外し、(図1)ブレーカーレバーにバンドのブリッジがあたる高さのスリットに入れます。レバー埋込型に取り付ける場合は最下段のスリットに入れます。本体をスリットに入れるときはカチッと音がするまで押し込みます。(図3)